

第36回(平成29年度)仙台市中学校新人大会 卓球競技の部 要項

1 会場

泉・宮城野区…泉総合運動場体育館(1日目)

太白・若林区…泉総合運動場体育館(2日目)

青葉区…宮城広瀬体育館(1日目)

2 日程

	泉・宮城野区	太白・若林区	青葉区
平成29年 10月7日(土)	団体戦 決勝まで 個人戦 決勝まで		団体戦 決勝まで 個人戦 決勝まで
平成29年 10月8日(日)		団体戦 決勝まで 個人戦 決勝まで	

3 大会規則

(1) 競技規則 現行日本卓球ルールによる(平成29年4月1日改正)

(2) 競技方法

①男女団体戦…トーナメント戦。

- ・学校単一のチームであり、同一校の監督1名とコーチ1名、選手6～8名で編成する。監督は必ず当該校の教職員であること。コーチは、ルールにのっとり、校長が認めた者であればよい。

- ・4単+1複の5試合で行い、3点先取法による。

但し、単複に重複して出場することはできない。

- ・当日、6名そろわなかった場合について

申込の時点で6名そろっている場合は、試合をさせる。オープン参加の形になるか、試合として成立していると認めるかは、人数がそろわなかった状況によるものとする。

②男女個人戦…トーナメント戦とする。

(3) 登録人数

①男女団体戦…各校1チームずつ(6～8名)。

②男女個人戦…各校4名まで。但し、平成29年度全日本カデット宮城県予選シングルの部全国大会に出場する者は、県新人大会個人戦無条件出場となるので、該当生徒が今大会に参加する場合は、その学校は、本人+4名までとする。

(4) 使用球 ニッタク プラスチック製 ホワイト球 40mm

(5) その他

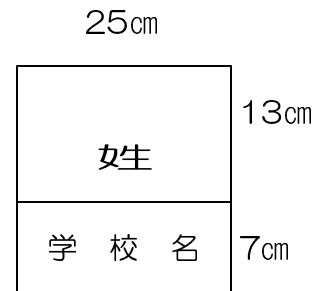
①試合は、1マッチ5ゲームとする。

②選手(団体戦)・監督・コーチの変更は、当日8時30分までに、所定の用紙で行うこと。

また、個人戦の選手変更は、病気または怪我による場合のみ認める。但し、大会3日前までに、所定の用紙で委員長に届け出ること。口頭での変更は認めない。

4 特に留意すべき競技上の注意点

- (1) 選手は必ず学校名、選手名入りのゼッケンを着用するものとする（右の例を参照）。なお、ゼッケンを着用していない者は失格とする（審判は試合前にゼッケンとラケットを確認すること）。
- (2) タイムアウト制は採用しない。
- (3) ラバーの張り替えは、指定された換気のよい場所で行うこと。
- (4) 練習時間終了後と試合開始の間にベンチに戻ることはできない。
- (5) ベンチコーチのアドバイスは、各ゲーム間それぞれ1分以内とする。
- (6) サービスについて（特に留意すべき点）
 - ① サービスの時、ボールはフリーハンドの手のひらの上で静止させること。また、ボールは手のひらから16センチ以上投げ上げること。
 - ② ボールを上げてから、打球まで、相手選手に常にボールが見えるようにすること（疑わしい動作もしてはならない）。
- (7) ラケットの片面が、木質である場合、ラバー面の色と違う、赤または黒の色で着色されていること(着色シートやマジック類)
- (8) ラバーをラケットに接着する際は、揮発性の有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАAが公認した接着剤(液体、固体、シートなど)のみを用いて行うものとする。
- (9) ルールの適用等に疑問がある場合、団体戦の場合は監督が、個人戦の場合は選手本人が主審に申し出ること。判断に迷う場合は、主審が、審判長に申し出ること。



5 審判

- (1) 団体戦は相互審判とする。
- (2) 個人戦の最初の試合は、相互審判とするので、審判員を連れてコートに入ること。その後の試合は、敗者審判とする。
※審判は、登録選手もしくは他の部員(審判ができる者)が行うこと。

6 参加料

団体1チームにつき1,000円 個人戦のみ参加者は、1人200円

7 その他

- (1) ゴミは各自持ち帰りとする。
- (2) 会場での「トイレ・壁・カーテンの破損」「貴重品・現金の盗難」「土足」「学校間のトラブル」が発生しないよう、会場使用上の注意を参照の上、事前の生徒指導及び大会期間中の生徒掌握を各学校で徹底する。
- (3) 団体戦・個人戦で、県新人大会に進出した学校・選手には、強化練習会の案内を配付する。
- (4) 今大会に関する情報は、仙台市中体連卓球専門部Webサイトに随時掲載する。参加校は、頻りにサイトを確認し、必要な情報を把握した上で参加すること。

仙台市中体連卓球専門部Webサイト：<http://sendaitt.masa-mune.jp/>